

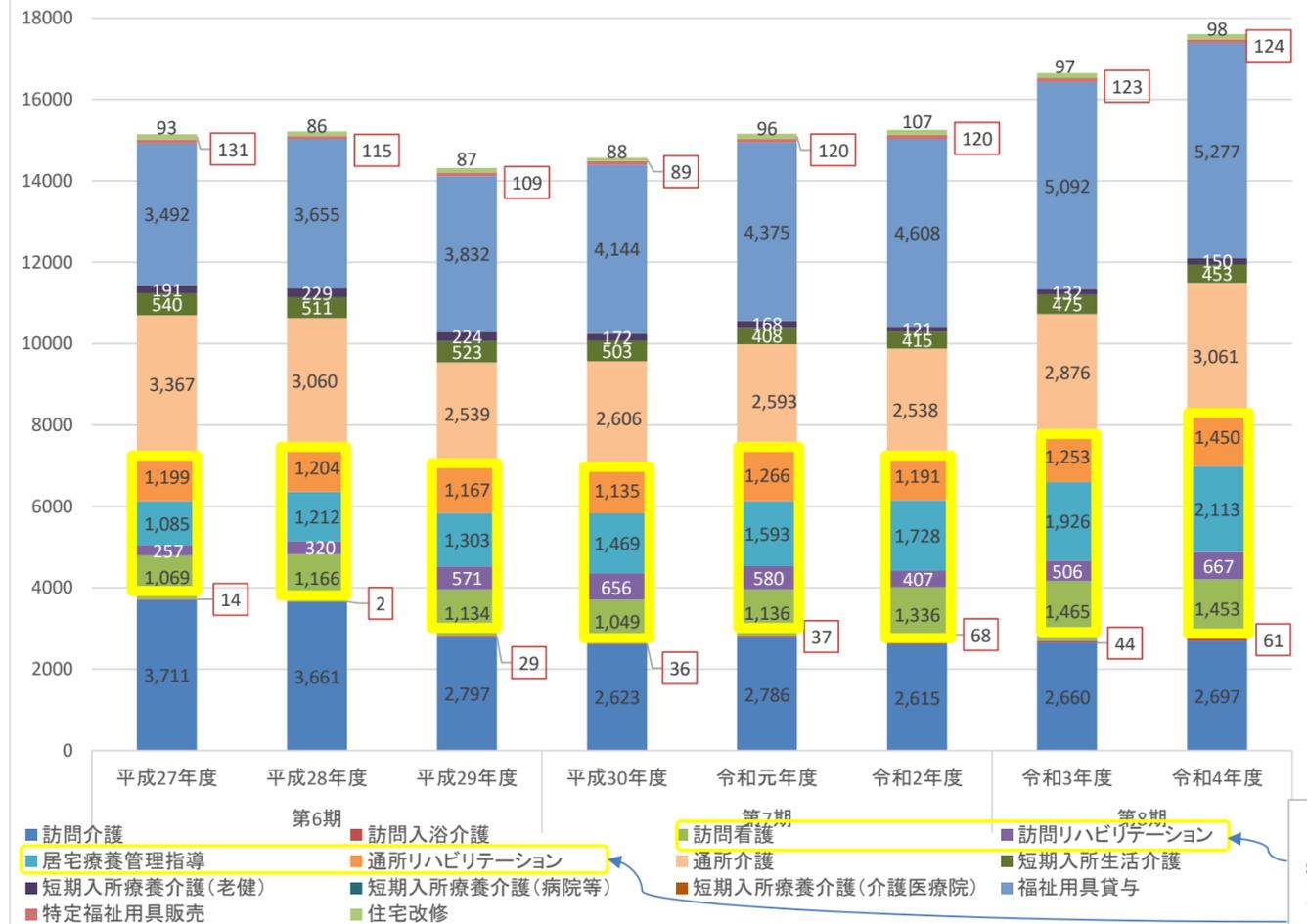
2. 在宅サービスの利用者数の推移(介護予防も含む)

表1

利用人数	第6期				第7期				第8期	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	平成30年度	令和元年度	令和2年度	累計	令和3年度	令和4年度
介護予防支援・居宅介護支援	7,216	7,539	6,713	21,468	6,944	7,170	7,195	21,309	7,640	8,028
訪問介護	3,711	3,661	2,797	10,169	2,623	2,786	2,615	8,024	2,660	2,697
訪問入浴介護	14	2	29	45	36	37	68	141	44	61
訪問看護	1,069	1,166	1,134	3,369	1,049	1,136	1,336	3,521	1,465	1,453
訪問リハビリテーション	257	320	571	1,148	656	580	407	1,643	506	667
居宅療養管理指導	1,085	1,212	1,303	3,600	1,469	1,593	1,728	4,790	1,926	2,113
通所リハビリテーション	1,199	1,204	1,167	3,570	1,135	1,266	1,191	3,592	1,253	1,450
通所介護	3,367	3,060	2,539	8,966	2,606	2,593	2,538	7,737	2,876	3,061
短期入所生活介護	540	511	523	1,574	503	408	415	1,326	475	453
短期入所療養介護(老健)	191	229	224	644	172	168	121	461	132	150
短期入所療養介護(病院等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所療養介護(介護医療院)	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
福祉用具貸与	3,492	3,655	3,832	10,979	4,144	4,375	4,608	13,127	5,092	5,277
特定福祉用具販売	93	86	87	266	88	96	107	291	97	98
住宅改修	131	115	109	355	89	120	120	329	123	124
地域密着型通所介護	-	637	699	1,336	607	550	571	1,728	400	292
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18	52	60	130	70	75	69	214	52	52
夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応型通所介護	81	109	103	293	106	77	62	245	60	12
小規模多機能型居宅介護	0	1	10	11	11	6	3	20	10	1
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

比較(R4とH27)	
伸び率	増減
111.3%	812
72.7%	▲1014
435.7%	47
135.9%	384
259.5%	410
194.7%	1028
120.9%	251
90.9%	▲306
83.9%	▲87
78.5%	▲41
0.0%	0
0.0%	0
151.1%	1785
105.4%	5
94.7%	▲7
45.8%※1	▲345
288.9%	34
0.0%	0
14.8%	▲69
0.0%	1
0.0%	0

在宅サービスの利用者推移 表2



※1 地域密着型通所介護は、平成28年度から始まったサービスのため、R4/R28で伸び率を計算している。
 ※厚生労働省:「見える化システム」から出典のため、3月サービスから翌年の2月サービス期間を1年として考える。



●表1について
 在宅における介護サービス利用者数を示す介護予防支援・居宅介護支援(ケアプラン)は、年々増加している。

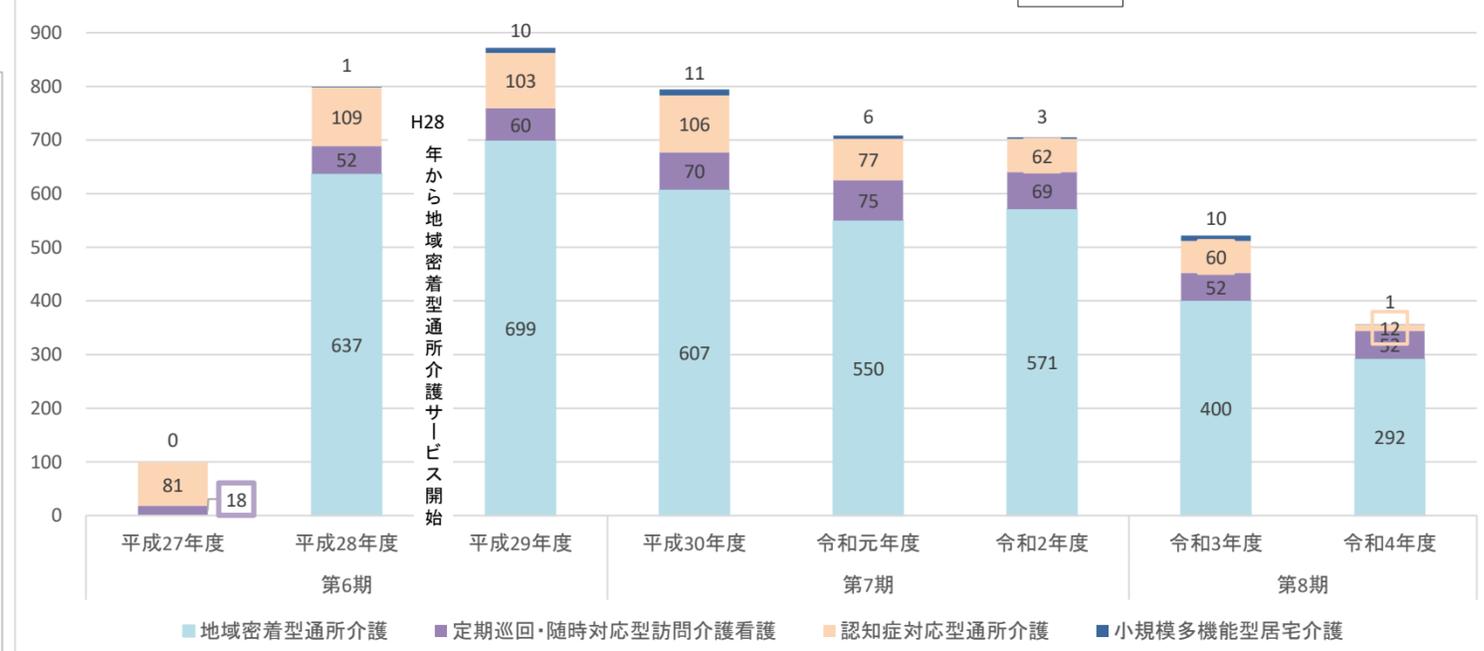
●表1・表2について
 平成27年度と比べて、令和4年度は、訪問看護(1,069人→1,453人)、訪問リハビリテーション(257人→667人)、居宅療養管理指導(1,085人→2,113人)、通所リハビリテーション(1,199人→1,450人)と利用者数は増加している。また、福祉用具貸与(3,492人→5,277人)や特定福祉用具販売(93人→98人)も利用者数は増加している。

●表1・表3について
 地域密着型通所介護については、年々利用者数が減少している。通所介護においても年々利用者数が減少している。

→ 医療やリハビリテーションのニーズが高まっていることや自宅での環境整備や予防目的でのサービスが導入されていることがわかる。

※ これらの利用者推移より、「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち」を目指して地域包括ケアシステムにおける保健、医療、福祉、介護サービスの連携が進んできていると考えられる。

地域密着型サービスの利用者推移 表3



地域密着型の定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護について、一定数の利用者はいるが、近隣の事業所利用で足りている。